



空間コメント

表面がフラットなものや曲面の付いたものなど数種類の面状・形状のテラコッタブロックを使用しています。高さ8.2m長さ46mのスクリーン壁は2Fの会議室とフォワイエを隔てています。テラコッタブロックは濃淡のある焼ムラによる色幅を持たせ、日照条件により微妙な表情や質感を出しています。形状は440×90厚み100(mm)で低層部外壁と同様にむくりを設けたものを5,700個使用しています。1Fロビー側からは視線の遮蔽効果、2Fフォワイエ側からは採光効果が出ています。スクリーンは吊り下げ方式で最上部にテラコッタブロックの自重を支持できる支持材を設置し、孔を空け、芯材パイプを通し、樹脂製のスペーサーで固定しています。

DATA

設計 : 日建設計
 施工 : 大林組
 所在地 : 大阪府大阪市北区西天満1-12-5
 竣工 : 2006年7月

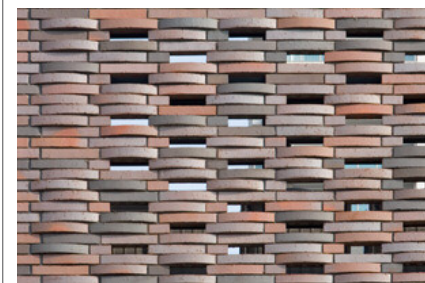
商品情報

テラコッタブロック : BR-1/特注色440×85×75(0~30)
 テラコッタブロック : BR-5/特注色440×90×100(0~30)
 テラコッタブロック : BR-3/特注色440×85×120
 テラコッタブロック : BR-K/特注色(427.5+85)×85、
 440×85 t=37、380×85×120

外観ディテールアップ

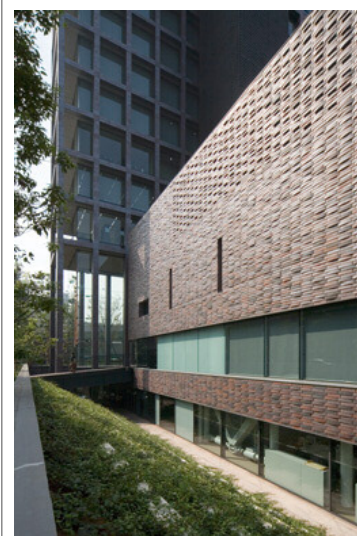


テラコッタブロックディテールアップ



テラコッタブロックディテールアップ

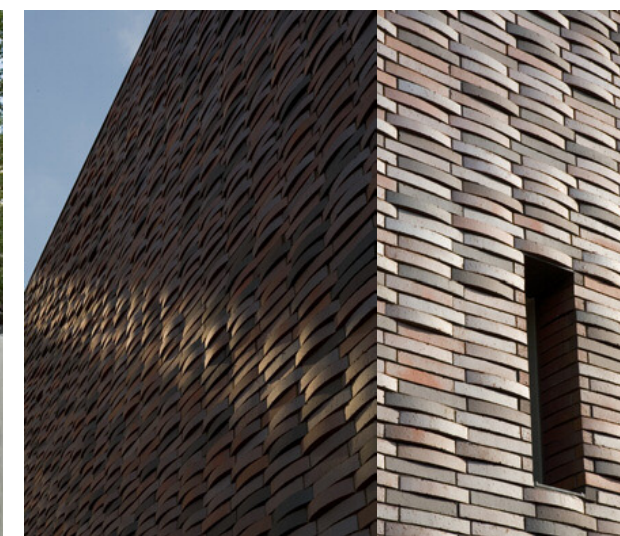
外観



外観全景 北東側



外観全景 南東側



外壁ディテール陰影



開口部ディテール

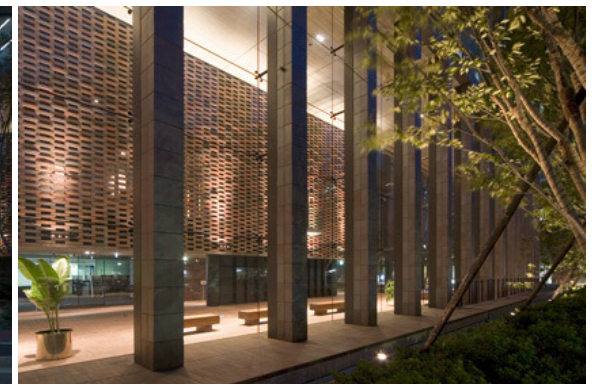
南側正面テラコッタブロック隔壁 (夜間)



1F外部からのテラコッタブロックの隔壁 (日中)

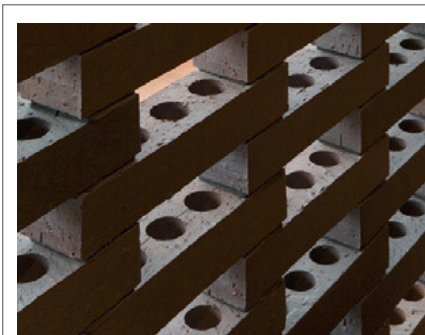


1F外部からの透かし煉瓦の隔壁 (夜間)



1F南西側外部から見たテラコッタブロックの隔壁 (夜間)

内観ディテールアップ

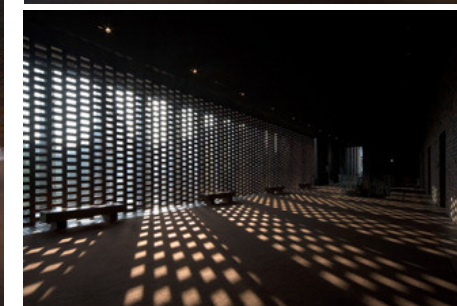
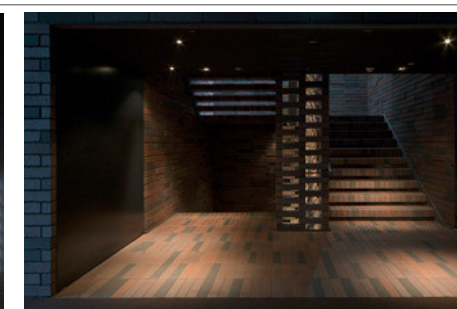


テラコッタブロックディテールアップ

内観



2Fロビー 曲面壁の中はクローク



2F階段室とロビー全景



1Fエントランスからテラコッタブロックの壁 (日中) と (夜間) の比較

